



学校報「二中の木」



友愛 不屈 自主
校訓

【学校教育目標】

自主・不屈・友愛の精神を身に付け、未来を創る生徒の育成

【目指す生徒の姿】

- ① 自主 (J) : 自ら考え判断し行動する生徒
- ② 不屈 (F) : どんな困難も、乗り越えようとする生徒
- ③ 友愛 (Y) : 思いやりの心をもち、互いを尊重する生徒

能代市立能代第二中学校 NO.14

令和8年3月17日(火)

文責：校長

先輩方の未来が希望に満ちあふれ、光り輝くように

～第79回 卒業証書授与式～

3月8日(日)、90名の卒業生が学び舎を後にしました。たくさんの御来賓や保護者の皆様に見守られ、また、在校生の思いが詰まった合唱と拍手に送られ、たくましく成長した姿で次のステップへ踏み出しました。



(送辞から抜粋)

二中祭のオープニングでは生徒会執行部をはじめとする三年生の皆さんが、エネルギーあふれるパフォーマンスで、会場を一気に盛り上げ、全校生徒の心を一つにしてくださいました。合唱コンクールでは、クラス全員が一致団結し、一つのまとまったハーモニーを創り上げようと努力している姿を見せていただきました。どのクラスも心を一つにして見事に歌い上げ、聴く人たちを魅了しました。

(略)

寂しがってばかりはいられません。今、先輩方が築き上げられたこの輝かしい伝統のバトンは、私たちが在校生の手へと託されました。先輩方が残してくださった熱い想いをしっかりと受け止め、二中の伝統を大切に守り、次へとつないでいきます。この一年間、私たちのリーダーとして、私たちを導き、励ましてくださり、ありがとうございました。

これから先輩方が歩まれる新しい道は、決して楽なことばかりではないかもしれませんが、時には高い壁に突き当たることもあるでしょう。しかし、この二中で培った「自主のJ・不屈のF・友愛のY、JFY」の精神があれば、どのような困難も必ず乗り越えられるはずです。私たちも応援しています。

名残は尽きませんが、先輩方の未来が希望に満ちあふれ、光り輝くものであることを心からお祈り申し上げます。送辞とさせていただきます。

在校生代表 近藤 ゆき

(答辞から抜粋)

私たちのために、ときには厳しく、そしてやさしく、三年間私たちを見守ってくださった先生方。本気になって、私たちとともに行事や大会に挑み、全力で応援してくださる姿は頼もしく、そのたびに感謝の気持ちでいっぱいになりました。先生方から教えていただいたことを忘れず、これからも自分を高めていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

そして、私たちがつらいときや悲しいとき、そして苦しいときに励まし、支えてくれた両親や家族。思春期の私たちは、ありがとうの一言も照れくさくて、なかなか感謝の気持ちを伝えられず素直になれなかったかもしれない。しかし、これまで家族の存在に私たちはどれだけ救われ、助けられたことでしょう。今日、こうして卒業を迎えることができたのはどんな時もやさしく支え続けてくれた家族のおかげです。本当にありがとうございます。まだまだ未熟な私たちをこれからも応援し、見守ってってください。

最後に、ともに歩んできた仲間たち。くだらないことで笑ったり。そんな何気ない日常すべての思い出が私たちにとっては大切な宝物です。

その仲間とも今日で別れ、一人一人が自分の道を進むこととなります。新しい出会いが、明るい希望が、私たちを待っています。今後も校訓「自主・不屈・友愛」の精神を心の支えに、能代第二中学校七十九期生として誇りをもって前進していきます。

能代二中、ありがとう。そして、さようなら。

卒業生代表 近藤 彪真



🌸ミラノ・コルティナオリンピック、パラリンピックの年の卒業生たちに 幸あれ! 🌸



令和7年度 能代市栄光賞

2/26発行NO.13で、23名の受賞をお知らせしたところですが、更に1名の受賞が決まりましたのでお知らせします。おめでとうございます!

○全国大会金賞

<野球> 佐藤八椿琉さん(2年)